

WHO-FIC ネットワーク年次会議（2017 年メキシコ、2018 年韓国）の概要

○ WHO-FIC ネットワーク年次会議（2017 年メキシコ）

主催 : WHO 及びメキシコ保健省
 開催期間 : 平成 29 (2017) 年 10 月 16 日 (月) ~21 日 (土)
 会場 : 世界貿易センター (メキシコシティ)

○ WHO-FIC ネットワーク年次会議（2018 年韓国）

主催 : WHO 及び韓国社会保障情報院、韓国保健福祉部
 開催期間 : 平成 30 (2018) 年 11 月 19 日 (月) ~24 日 (土)
 会場 : インペリアルパレスホテル (ソウル)

参加者 : WHO、各 WHO 国際統計分類協力センター、各国政府厚生・統計関係部局、NGO、オブザーバー等

【主な議論】

1. 全体

- ・ WHO では、引き続き持続可能な開発目標 (SDG) とユニバーサル・ヘルス・カバレッジ (UHC) に取り組んでおり、国の保健システムとしてプライマリ・ヘルスケアの重要性を謳ったアルマ・アタ宣言 (1978 年) から 40 年を迎え、より質の高い健康医療情報の整備と一層の活用について期待が述べられた。
- ・ 2017 年テドロス・アダノム事務局長が就任し、新しい体制で運営が開始されている。また、当該部署では新しい事務局長補 (ADG) ※^{1,2}に Lubna A Al-Ansary (サウジアラビア) が任命されたほか、新しい Director として Gates foundation から John Grove※³ が就任した。
- ・ ICD に関しては、2018 年 6 月 implementation に向けた最終案について公表 (<https://icd.who.int/>)。2019 年 5 月世界保健総会に提出予定。
- ・ ICF に関しては、ICD-11 に functioning の章が作成されたことのほか、ICF2017 (オンライン版) の完成、ICF の Education platform、e-learning tool 等について共有された。
- ・ ICHI (International Classification of Health Interventions) は 2007 年より開発が始まり、2018 年ベータ-2 版を公表 (<https://mitel.dimi.uniud.it/ichi/>)。今後、電子的な教育ツール (ICHI-FiT) を用いたフィールドテストを実施予定。
- ・ WHO-FIC network においては、2017 年 URC (改正・改訂委員会) が終了し、CSAC が設立された。また、新たに TMRG (Traditional Medicine Reference Group; 伝統医学グループ) が設立された。

※ 1 : Lubna A Al-Ansary 氏は、Marie-Paule Kieny 氏の後任。

※ 2 : UHC 担当の ADG には、日本の山本尚子氏 (厚労省出身) が就任している。

※ 3 : John Grove 氏は、Ties Boerma 氏の後任。

委員会・グループ名	共同議長
カウンスル Council	Donna Pickett (米) Lynn Bracewell (英)
教育普及委員会 EIC : Education and Implementation Committee	Sharon Baker (カナダ) Vera Dimitropoulos (豪)
国際分類ファミリー拡張委員会 FDC : Family Development Committee	Coen van Gool (南ア) Andrea Martinuzzi (イタリア)
情報科学用語委員会 ITC : Informatics and Terminology Committee	Cassandra Linton (カナダ) 中谷純 (日本：東北大学)
分類・統計諮問委員会 CSAC: Classification and Statistics Advisory Committee	Jenny Hargreaves (豪) Lucilla Fattura (イタリア)
医学・科学諮問委員会 MSAC : Medical and Scientific Advisory Committee	Chris Chute (米)
死因分類グループ MRG : Mortality Reference Group	Robert Anderson (米) 中山佳保里 (日本：厚生労働省)
疾病分類グループ MbRG : Morbidity Reference Group	Olafr Steinum (スウェーデン) Bill Ghali (カナダ)
生活機能分類グループ FDRG : Functioning and Disability Reference Group	Haejung Lee (韓国) Matilde Leonardi (イタリア)
伝統医学グループ TMRG : Traditional Medicine Reference Group	渡辺賢治 (日本：慶應義塾大学) Danbo Dou (中)

2. 各委員会等における主な議論

(1) FDC (国際分類ファミリー拡張委員会)

- ・WHO-FIC Family Paper の最終ドラフトが完成。UHC を把握するための指標づくりや ICD-11 プライマリケア版の作成、ITC と共同で実施中のマッピングプロジェクトなどについて検討を行った。
- ・ICHI については、FDC の下に設置されたタスクフォースにおいて一次検証を行い、2018 年 Beta-2 版を公表した。トレーニングマニュアルの拡充と電子的な教育ツール (ICHI-FiT) の開発を進めており、2019 年にはフィールドテストを実施し、ICHI プレファイナル版を公表予定。

(2) EIC (教育普及委員会)

- ・WHO-FIC 実施状況データベース (Implementation database) について、例年の更新の加えてデータ確認や内容の改良について検討を行った。
- ・ICD-11 に関する活動を最優先に行うことを確認し、他の委員会、リファレンスグループとの協働を図りながら、フィールドトライアルの分析や課題の整理、教材開発等について検討を行った。
- ・ICF e-learning tool の開発を進め、各国語への翻訳作業の状況について共有した。

(3) ITC (情報科学用語委員会)

- ・ ICD-11 改訂において、ブラウザや ICD Coding Tool の開発、プロポーザルシステムの更新等を行った。また、特定の ICD ツールを他のソフトウェア、電子カルテ等において統合的に利用するため API (Application Programming Interface) の開発について説明があった。
- ・ SNOMED-CT とのマッピングや iCOS (Clinical Omics Sub Information Model for ICD、ゲノムデータを含むオミックスデータを取り扱うシステム) の国際標準化の方針等について報告があった。

(4) URC (分類改正改訂委員会) (2018 年 CSAC (分類・統計諮問委員会) に改組)

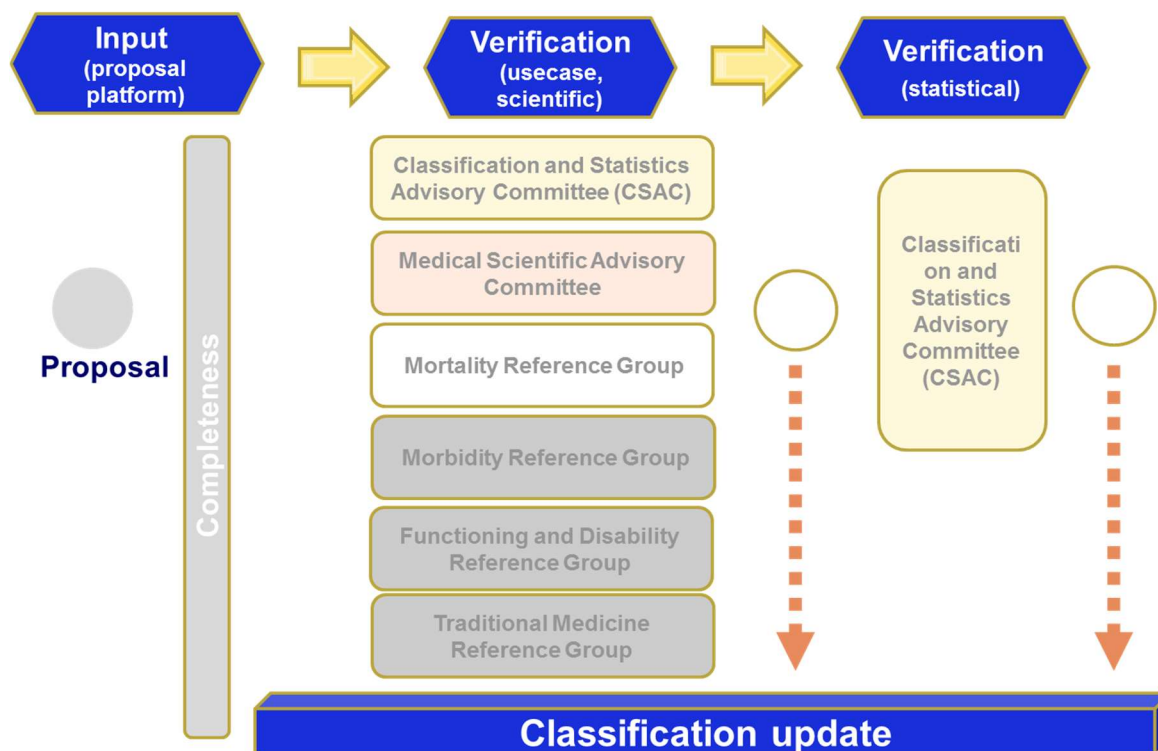
- ・ 1999 年より活動してきた URC は、2018 年より CSAC として活動することになった。URC と同様に ICD, ICF に対するプロポーザルを受理し、レビュープロセスを経て CSAC がプロポーザルの可否を決定することにより、ICD、ICF の構造および内容について決定する役割を有する。
- ・ CSAC メンバーは各協力センター長、MSAC, MRG, MbRG の議長が構成する。
- ・ 2017 年においては、ICD-10 について 88 件を審議。日本からの提案 4 件のうち、2 件採択 (ウイルス性肝炎キャリアの細分、過敏性腸症候群のサブタイプ)、1 件棄却 (十二指腸憩室)、1 件 (左室右房交通症) は棄却の上 ICD-11 にて検討することとされた。(その他の結果については、別紙 1 参照。)
 - 過敏性腸症候群のサブタイプ : URC#2170 (2017 年採択)
過敏性腸症候群 (K58) の細分類について、最新のガイドライン (Rome IV) に基づき、下痢型、便秘型、混合型等に再構成するもの。
 - ウイルス性肝炎キャリアの異動 : URC#2042 (2014 年採択) 及び URC#2180 (2017 年採択)
ウイルス性肝炎のキャリア (Z22.5) について、臨床上そのような概念は認められなくなったとして分類が削除されたものの、依然、行政上は、分類するニーズがあることから、慢性ウイルス性肝炎 B18 に細分を設けることとされたもの。
- ・ 2018 年対面会議においては、ICD-11 MMS、プロポーザルに対する今後の投票法等について説明・議論が行われた。
- ・ ICD-11 については、プラットフォーム上に提出された多くのプロポーザルをトリアージするための優先順位や処理方法が課題となっている。

(5) MSAC (医学・科学諮問委員会)

- ・ 2016 年 10 月に設立され、2017 年 8 月から国際電話会議 (月 1 回) を実施。2017 年 10 月に初の対面会議となった。
- ・ ICD-11 における short descriptions について、5000 以上のレビュー作業を行うとともに、ACTH 欠損症など 24 件の主要な医学的な課題について検証を行った。
- ・ 2018 年 10 月対面会議では、医学的な課題の他、プロポーザルの承認基準や CSAC との役割分担等について説明・議論が行われた。

- ・共同議長であった田嶋尚子氏（東京慈恵医科大学名誉教授）の退任について報告があった。

（出典）WHO資料



（６）MRG（死因分類グループ）

- ・ ICD-11 における死亡統計ルール（Reference guide）について議論を行った。従来のルールから大きな変更はないが、簡便な用語の使用やフォーマットの整理などにより共通理解の促進が図られている。なお、ルールの骨格はできているが、ICD-11 のコードの追加・確認等 ICD-11 の各国における実施までに引き続き作業が行われる予定となった。

（７）MbRG（疾病分類グループ）

- ・ 主要病態の位置づけ（入院の理由、最も医療資源を投入など）、診断の時期、病態の用語上の捉え方（‘caused by’，‘due to’ 等）、一連となった病態の捉え方、エクステンションコードの使用方法など議論が行われた。

（８）FDRG（生活機能分類グループ）

- ・ ICD-11 に V 章として ICF の一部が盛り込まれたことに加え、ICF Practical Manual 案の更新、ICF2020 年改訂版に向けた作業工程（ICF-CY 関連項目の検証を含む）、WHO-DAS children の開発等 について説明・議論が行われた。
- ・ ICF e-learning tool (<https://www.icf-elearning.com/>)、ICF Education platform、(<http://icfeducation.org/>) について情報共有がなされた。

- ・ ICF にかかる国内の取り組みについて、日本、中国、韓国、タイから報告がなされ、意見交換を行った。

(9) TMRG(伝統医学グループ)

- ・ 2018 年新たに設立。共同議長に渡辺賢治氏（日本、慶應義塾大学教授）、Dou Danbo 氏（中国）が就任した。
- ・ ICD-11 伝統医学の章について、今後の維持管理やプロポーザルの審議方法等について、説明・議論が行われた。
- ・ 日本、中国、韓国等から、国内における伝統医学の章の運用について、その構想や予定が報告され、日本からは教材の開発やフィールドテストの実施等について説明がなされた。
- ・ ICHI における伝統医学の行為に関して、今後協働して検証することを予定。

(10) JTF（ジョイント・タスクフォース）

- ・ WHO における ICD-11 開発への外部評価を受けて、ICD-11 改訂に向けた戦略的、技術的な審議を行うため 2015 年に設立。
- ・ 設立以来の JTF における活動報告が行われ、2018 年 10 月に解散となった。

(11) APN（アジア・太平洋ネットワーク）

- ・ カンボジアにおける全国への普及や、ラオスにおける ICD-10APN 簡易版翻訳、モバイルアプリケーションにおけるタイ語追加等について報告がなされた他、Startup Index の最終版（近日中に WHO ウェブサイト公開予定）について説明がなされた。
- ・ 西太平洋事務局（WPRO）等と連携し、各国におけるデータの質向上やリソース確保といった課題について議論を行った。

3. 今後の会議日程

- ・ 次回 WHO-FIC 年次会議 カナダ予定（2019 年 10 月）

2017 年採択案件一覧

※表内の色付き行は、コードの新設、削除のあった案件又は日本からの改正提案

(対面会議で審議された事項)

URC#	タイトル	結果
採択：大改正（2019 年適用）		
2160	Facial palsy due to stroke : G83.6 上位運動ニューロン顔面神経麻痺の新設	修正の上採択
2166	Complex regional pain syndrome type : G56.4 カウザルギーの削除及び G90.5-7 複合性局所疼痛症候群の新設	修正の上採択
2170	Subtypes of Irritable bowel syndrome : K58 過敏性腸症候群の細分類の再構成 ※日本提案	修正の上採択
2185	Note on I46.9	採択
2188	Unspecified effects of other external causes : T76 外因による詳細不明の影響の新設	修正の上採択
2205	Zika virus disease : U06 の削除並びに A92.5 ジカウイルス病及び P35.4 先天性ジカウイルス病の新設	修正の上採択
2230	Injury of the labrum in (degenerative) shoulder joint : M75.6 変性肩関節唇の裂傷の新設	採択
2283	Appropriate code for hypoproteinemia	採択
2291	Carotid artery atheroma	修正の上採択
2308	Restore missing index entry	修正の上採択
2312	Neoplasm instructions modifications related to metastatic	修正の上採択
2326	Error in code for Osteochondrodystrophy	採択
採択：小改正（2019 年適用）		
2180	Carrier of Viral Hepatitis : B18 慢性ウイルス性肝炎の細分類の新設 ※日本提案	修正の上採択

2197	Manifestations of diabetes mellitus in pregnancy	修正の上採 択
2248	Acquired cerebellar ataxia	修正の上採 択
2261	Abdominal compartment syndrome (amendment to URC 2103)	修正の上採 択
2262	Acquired encephalocele	採択
2285	Index discrepancies involving O10	採択
2295	Print error in Volume 2	採択
2297	Victim of extreme weather (X37-X38)	採択
2300	Acute subdural haemorrhage	採択
2303	Other gastritis exclusion note	採択
2307	Term reported as sudden infant death but age is over 1 year	採択
2311	Neoplasm instructions in section 4.3.5 A	採択
2315	Congenital conditions	採択
2322	Cognitive impairment	修正の上採 択

(対面会議前のウェブ投票により採択された事項)

URC#	タイトル	結果
採択：大改正（2019 年適用）		
2192	Respiratory infections n.o.s. : J98.7 他に分類されない呼吸器感染症の新設	採択
2279	Neurocytoma	採択
2281	Code for hyperbilirubinemia : R17 高ビリルビン血症の細分類の新設	採択
2290	Charcots arthropathy	採択
2302	Age related, mature, advanced and white cataracts	採択
2319	4.3.7 instructions on rheumatic disease	採択
2323	Chylothorax	採択
2343	Code error in Conditions arising in the perinatal period	採択
採択：小改正（2019 年適用）		

2284	Addition to Annex 7.4	採択
2292	Polyarteritis nodosa	採択
2293	Imipenem	採択
2296	Rheumatic fever and tonsillitis	採択
2301	ICD-10 5th Edition print errors	採択
2305	Tapeworm infestation in index	採択
2310	P95 usage notes	採択
2313	Correction to URC 2184	採択
2314	Clarification of instructions for diabetes	採択
2316	Neonatal diarrhea	採択
2317	Hypertension issues	採択
2318	Adding codes in some of neoplasm instructions section 4.3.5	採択
2320	Move more related to old perinatal certificate to end	採択
2321	Conflict in linkage instructions	採択
2324	Check for modifications of the starting point example	採択
2327	Pseudosclerosis of Strumpell-Westphal	採択
2342	Indication note error at M91	採択
2345	Error in 2016 print edition	採択
2348	Reiter disease	採択
2349	Index list errors at A52.0 dagger with I39.- asterisk	採択
2350	Graphic illustration of coding instructions for mortality	採択
2354	Error correction in Vol 2 section 4.3.7 C	採択